

高梁市有漢地域の学校再編準備委員会（第1回） 会議録（概要）

日時 令和元年10月30日（水）

午後7時～午後8時30分

場所 有漢保健センター2階 会議室

○委員 出席19名 欠席1名

○オブザーバー 出席1名 欠席1名

1. 開会

2. 教育長あいさつ

地域からの要望により再編にかかる準備委員会を設置した。この会で十分議論して、有漢地域にとってどういう教育環境がよいのか方向性を決めていただきたい。

3. 経過報告

事務局から準備委員会設置に至る経緯について報告

4. 自己紹介

別添名簿のとおり

5. 協議事項

会長	<p>(1) 会長、副会長の選任について</p> <p>委員からの会長に有漢地域まちづくり協議会会長、副会長に有漢地域連合PTA会長の推薦があり、各委員の同意により決定</p> <ul style="list-style-type: none">・会長 有漢地域まちづくり協議会会長 植木委員・副会長 有漢地域連合PTA会長 藤井委員 <p>皆様方のご意見をしっかりといただきながら、要望書にある有漢地域での教育環境の最適化を進めていきたい。ご協力願う。</p>
----	--

<p>学校教育課 委員 学校教育課</p>	<p>(2) 有漢地域の幼児・児童・生徒数の現状と今後の推移について ～資料により説明～ 資料と実際の有漢東小の複式学級の学年とは異なっているがなぜか。 資料は国の基準により作成しているが、実際には学校で学級編成をある程度任されており、実態が異なる場合はある。学級数は同じになる。</p>
<p>事務局 委員 会長 教育次長 会長 委員 委員 委員</p>	<p>(3) 今後の会議の進め方について ～資料により進め方について提案 月1回程度は開催したい。 月1回の開催ということだが、子どもの数の推移を見てもそれほど長く時間をかけて協議する時間はないと思う。どれくらいを目途に検討していくのか。 会議の期間について意見を問う。 この会は、地域の要望に基づいて設置した。再編ありきでは無く考えていきたい。地域の方が小規模校の良いところや、単式学級、複式学級の制度についてご理解いただいて、全員の共通理解のもと、ある程度の方向が決まればそこが区切りということで良いと思う。まずは目指すところを決めていただきたい。 要望書にある2つの理念とそれを達成するために目指す方向性を5つ掲げているので、それに沿ってしっかりと議論していきたい。 方向性というのは要望書を提出した時点で決まっていると思う。そこに向かっていくまでの知識を深めていくということだとは思いますが、要望書に掲げた事項についてあまり時間をかけたくない。 一貫校とは、義務教育学校とは、特色ある学校づくりとはなど、情報として不足している部分があるので、まずは視察や情報提供をしてもらって議論していく必要があるのではないか。検討するにも委員が同じ程度の認識を持っていないと協議ができない。 学区外のこどもの受け入れについても念頭に置いておく必要があるのではないか。</p>

教育長	<p>例えば小中一貫校の中にもいろいろな制度があるので、有漢地域に適した制度を研究してもらいたい。また一貫校にすれば、学区外に限らず市内全域、全国区とすることも制度上可能である。</p>
委員	<p>最終的には小中一貫校の設置というのが目標になるが、まず小学校の統合を先に検討したらどうか。中学校はいずれ中学校同士で統合する可能性がある。</p>
委員	<p>小中学校の適正規模や単式学級、複式学級についてなど、検討内容について研究したうえでまず小学校を統合するのが良いのか、小中学校全体での再編がよいのか、今のままでいいのかを情報を提供していただいて、それをもとに検討していくべきだと思う。</p>
委員	<p>次回の検討内容は、小中学校の適正規模や単式・複式学級の違いと小中一貫校の制度の説明を聞いて、その後に特色ある学校づくりについて話し合えば良いと思う。</p>
委員	<p>膨大な資料になると思うので、事前に配布していただいて、ある程度理解した上で次の協議に臨みたい。小学校では、なるべく早めにという意見がでていた。大きな要望事項もあり実現するまでに時間がかかるのであれば、早めに小学校を統合して、その間にいろいろ考えて形を作った方がよいという話もあった。そう考えると次の3月までに全部がまとまらないのであれば、小学校の統合だけは、結論を出して、その後の形は、決まらなければもう少し時間をかけてやらざるを得ない考える。それを目途に1回は走った方がよいだろうとこれまでの考える会などの経過を踏まえると考える。</p>
委員	<p>教育委員会としては期限があるか。</p>
教育長	<p>いつまでに決定しなければならないというものはない。地元からの要望に基づく準備委員会のため、教育委員会があまり前に出るというものいかがかと思うが、長ければよいというものではない。ある程度の時期を目指して方向性ができれば、内容によってはすぐにできるものもあるし、予算の確保や制度変更など伴うものがあれば、全市的に論議をしていく必要があるので、そこで時間が必要となる場合がある。しかし、そういうものがあるからと言って無理だとかすぐに言うつもりはない。一定の</p>

委員	<p>期限で教育委員会の職員、校長も委員にいますので、全員で良いと思うものを出していただければと思う。それがどこまで実現できるかというもう一つの段階はあるが、努力はしていきたい。</p>
教育長	<p>具体的に小学校の統合という結論がでたと仮定して、実際に統合するまでにどのくらいの時間がかかるか。</p>
委員	<p>校舎の建築が必要となると数年以上相当かかる。</p>
委員	<p>建設しない場合、複式学級の勉強を解消するのに1年、時期にもよるが規則等の改正と予算確保で合わせて2年程度は必要。</p>
委員	<p>来年の4月からというわけにはいかないということか。</p>
委員	<p>統合ありきではないと思うが、小中学校、こども園で不安なことは、複式学級を経験したことがない人もいるということ。</p>
委員	<p>中学校は人数が少ないので部活が合同チームになって、メリット、デメリットがあると思うので、そのデメリットを上回るメリットがないとなかなか話が難しいと思う。一貫校の視察に行くのも良いと思うが、有漢東小学校の複式の授業を見学させてもらおうとか、中学校の合同チームのメリットとか、近場の不安から解消というか聞いてみたい。正直なところ、複式学級が本当にどうなのかというのもある。急ぎすぎるのもいけないし、急がないのもいけないので、校長にそのあたりがどうなのか聞きたい。</p>
委員	<p>小学校の見学は、申し出をしてもらえば、見学は配慮できる。実際に単式や複式を見てもらえばよい。また、一貫校の話では簡単につくるのは難しい。まずは学校の連携を十分行って、素地を作る必要があると思う。</p>
委員	<p>国に電話で問い合わせたら、義務教育学校の適正人数には足りないが、有漢でも一応できるとの回答だった。義務教育学校を選択するという流れで行くのであれば、ずるずるいくと人数が足りずに実現が難しくなるという可能性があるのかなと感じた。また統合と義務教育学校の設立は全く関係ないので、これを一緒に話されたら困るとも言われた。</p>
	<p>教育に力を入れることがまちおこしで最も早いだろうと考えるし、一番やるべきだろうと思う。学力が上がって損することはないと思うし、</p>

<p>委員</p> <p>委員</p>	<p>まちの活性化に繋がることも事実だと思う。時期を遅らせれば遅らせるほど、その形は難しくなるかもしれないので、そこも含めた義務教育学校、小中一貫校の資料を用意してもらうときに設置基準を提示してもらうのが良いと思う。</p> <p>小学校の統合に2年かかるという話とは別に、義務教育学校の設置に年数がかかるとすれば、小学校を統合する話は一回白紙にもどして、義務教育学校を最初から視野に入れておかないと、両方に時間がかかるのは避けたい。</p> <p>資料は準備していただいて、白紙というか方向は一緒なので順番を検討。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>(4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の公開について <p>会議は原則公開（協議の内容によっては、会長と相談し非公開）。</p> <p>ホームページで開催日を公表し、傍聴も認める。</p> <p>会議録は、要約したものを会長が確認うえ、委員個人の名前は伏せてホームページで公開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回開催日 <p>11月27日（水）19時～</p> <p>学校の訪問日については後日調整し連絡する。</p>

6. 閉会 副会長

有漢町の子どもたちが魅力的な教育環境で育って世界に羽ばたいてもらえたらと思う。

みなさんで1ヶ月に1回ではあるが、未来を作ってくれる子どもたちのために時間を割いて有意義な時間にしていきたいので、協力願う。